

「北海道労働局長表彰企業への職場訪問」を実施しました

～ 9月20日に名寄労働基準監督署長が
トヨタ自動車株式会社 土別試験場を訪問 ～

名寄労働基準監督署長は、全国労働衛生週間(10月1日から7日まで)に向けて、管内事業場等の労働衛生意識を高めるため、本年度、労働衛生に関する水準が良好で、取組内容が他の模範と認められ北海道労働局長の奨励賞を授賞した、トヨタ自動車(株)土別試験場を訪問いたしました。

北海道労働局長表彰の授賞について

事業場の多年にわたる、長時間労働の縮減、年次有給休暇の取得促進、メンタルヘルス対策、労働者の健康の保持増進等の労働衛生対策への積極的な取組が良好で、かつ他の模範と認められたことから、令和5年7月5日、北海道労働局長奨励賞を授賞したものの。

全国労働衛生週間について

労働者の健康管理や職場環境の改善など『労働衛生』に関する国民の意識を高め、職場の自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的として毎年実施しているもの。



【職場訪問の様子】

「職場訪問」を記念して写真撮影(左:大矢根担当部長、中央:東川看護師、右:小田桐署長)を行いました。

【取組事例紹介の様子】

トヨタ自動車株式会社 土別試験場からは、「健康第一の会社を目指して」とする、企業トップの健康宣言について、「心身の健康は『良い仕事をするための原動力』であり、『社員一人ひとりの幸せ』にとって、また家族にとっても大変重要」との方針に従って取り組んでいる旨、説明を受けました。具体的に【健康チャレンジ8】について紹介いただきました。



■健康チャレンジ8

健康チャレンジ8の実践数を増やすことで、健康リスクを下げるという取組みを全社で推進



また、メンタルヘルス対策について、「メンタル不全の未然防止」のため、社員の年齢階層に応じた研修を実施し、若手社員には「自分のメンタル不調に早く気づき、対応するための視点での教育」を、ベテラン・中堅層には「部下のメンタル不調に早く気づき、対応するための管理者の視点での教育」を、実例を挙げて紹介いただきました。

さらに、土別試験場独自の活動として、安全週間の7月、労働衛生週間の10月を軸に、健康チャレンジ8にかかるスポットイベント(昼休みウォーキング、禁煙講話、低カロリー

一食提供、健康測定、健康展示等)を開催し、社員が、「健康」を身近に感じ、こころとからだの健康保持につなげることができるよう工夫している事例を紹介いただきました。

■健康チャレンジ8 士別試験場独自活動

実践数向上に向けた活動の促進、健康習慣きっかけづくりの提供・継続をサポート

安全月間(7月)や労働衛生月間(10月)を軸にスポットイベントを計画開催
「健康」を身近に感じることで、こころとからだの健康保持につなげる



【意見交換の様子】

社員の健康確保対策を継続させていく上での工夫などについて意見交換をいたしました。

この中で、職場に「血圧計」・「体重計」を備え付け、日ごろから健康状態を簡単に確認できるようにし、健康づくりに関して、日常のコミュニケーションの促進を図っていることや、健康診断結果を家族と共有し、食生活の改善を促すきっかけとしていること、また、自治体の保健師などへ健康講話を依頼していることなどを紹介いただきました。こうした取組は、事業場の規模に関わらず実施可能な項目であり、他の事業場でも参考にしていきたいものでした。

このほか、取組を継続させた結果、社員の喫煙率が、かつては7割程度であったものが2割程度に減少したことなども、成果として紹介いただきました。

今後も、「健康第一の会社を目指して」、労使一体で取組を進める旨、お話しいただきました。

